

令和6(2024)年度 住まいとコミュニティづくり活動助成

■助成対象団体が決定しました

「住まいとコミュニティづくり活動助成」は、ハウジングアンドコミュニティ財団の自主事業として1993年から開始したユニークな助成プログラムで、市民の自発的な住まいづくりやコミュニティの創出、そして地域づくり活動を一貫して支援してきました。

令和6(2024)年度の「住まいとコミュニティづくり活動助成」の募集には、全国43都道府県から126件の応募がありました。

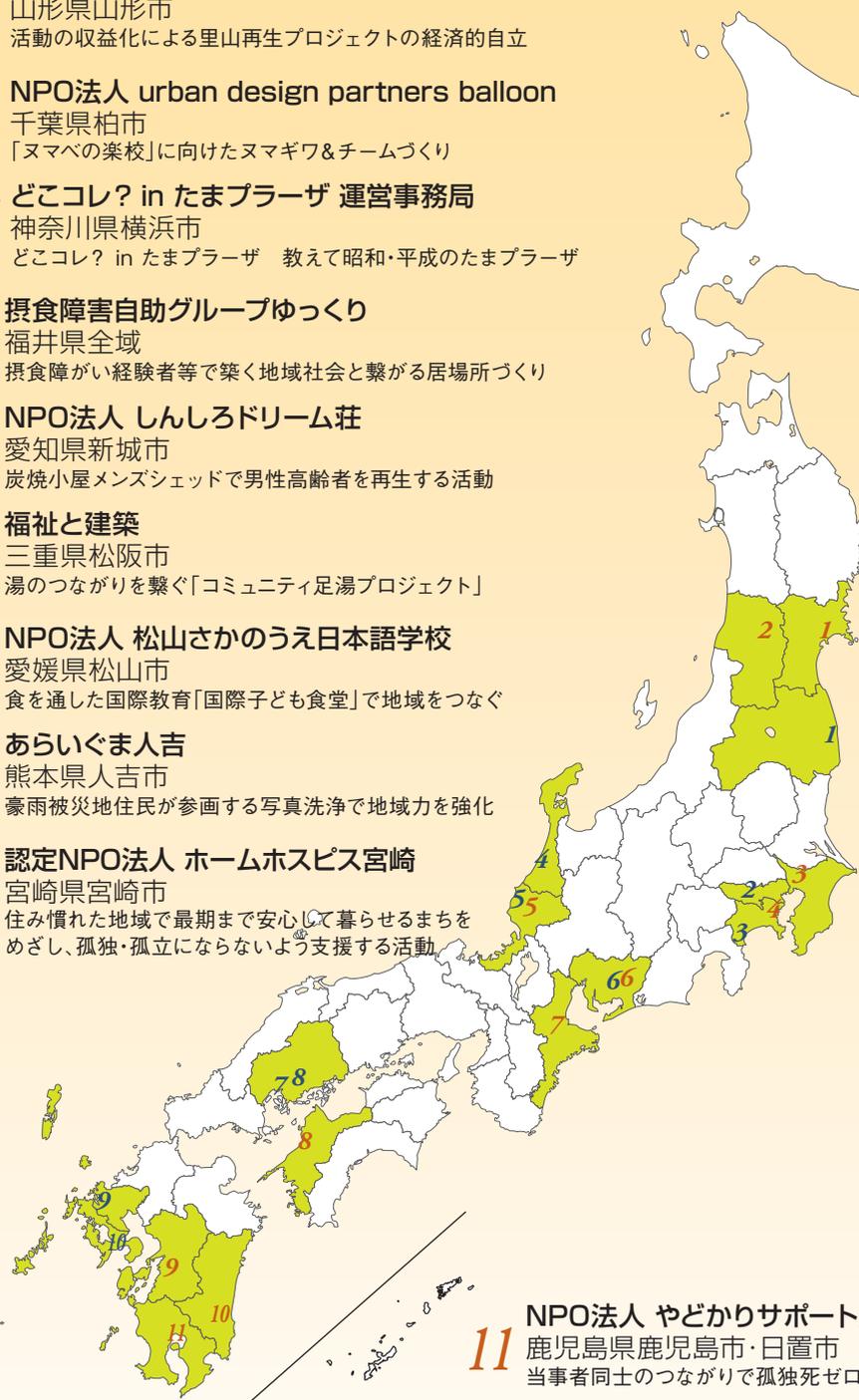
選考委員会による厳正な審査の結果、コミュニティ活動助成11件、住まい活動助成10件の計21件が助成対象団体に選ばれました。

■コミュニティ活動助成

- 井土まちづくり推進委員会**
宮城県仙台市
ハレとケで整えるふるさと～仙台市若林区井土地区の宅地跡地活用～
- 鬼越の森再生プロジェクト [継続]**
山形県山形市
活動の収益化による里山再生プロジェクトの経済的自立
- NPO法人 urban design partners balloon**
千葉県柏市
「ヌマベの楽校」に向けたヌマガワ&チームづくり
- どこコレ? in たまプラーザ 運営事務局**
神奈川県横浜市
どこコレ? in たまプラーザ 教えて昭和・平成のたまプラーザ
- 摂食障害自助グループゆっくり**
福井県全域
摂食障がい経験者等で築く地域社会と繋がる居場所づくり
- NPO法人 しんしろドリーム荘**
愛知県新城市
炭焼小屋メンズシェッドで男性高齢者を再生する活動
- 福祉と建築**
三重県松阪市
湯のつながりを繋ぐ「コミュニティ足湯プロジェクト」
- NPO法人 松山さかのうえ日本語学校**
愛媛県松山市
食を通じた国際教育「国際子ども食堂」で地域をつなぐ
- あらいぐま人吉**
熊本県人吉市
豪雨被災地住民が参画する写真洗浄で地域力を強化
- 認定NPO法人 ホームホスピス宮崎**
宮崎県宮崎市
住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるまちをめざし、孤独・孤立にならないよう支援する活動
- NPO法人 やどかりサポート鹿児島**
鹿児島県鹿児島市・日置市
当事者同士のつながりで孤独死ゼロをめざす活動

■住まい活動助成

- 浪江「あの日」の家改修設計チーム**
福島県浪江町
震災記憶をとどめた家を改修し、まちにひらく
- めじろ台地区まちづくり協議会**
東京都八王子市
めじろ台住宅地中心部の再構成活動
～連携的エリアリノベーション～
- 子ども大人もまちの寺子屋 わってらか [継続]**
神奈川県小田原市
まちの資産で地域と親子をつなぐ
日常の居場所とあそび場づくり
- NPO法人 綴る**
石川県金沢市
菊川の空き家を舞台に、新しい「共(とも)」の風景を描く
- NPO法人 あわら市名泉郷住みよい街を創る会**
福井県あわら市
地域振興、交流促進の中核的活動拠点を整備し、
住みよい街を創造する
- NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた**
愛知県岡崎市
空洞化の進む路地街区の空き地・空き家を
活用した地域再生
- NPO法人 湯来観光地域づくり公社**
広島県広島市
旧病院を改修した、高齢者とまちを支える
若者受入れのためのシェアハウス
- 白市町家保存会**
広島県東広島市
町家の保存、再生、活用により地域の活性化を図る
- NPO法人 WeD**
佐賀県唐津市
高校生の「〇〇したい」を支援しつつ、
高校生の主体性を育む事業
- 斜面地・空き家活用団体つくる**
長崎県長崎市
長崎の斜面地に新たな文化拠点をづくり、
地域の魅力発信に取組む



■コミュニティ活動助成

地域づくりやコミュニティを基軸にした広範な市民活動に対する助成

井土まちづくり推進委員会

(宮城県仙台市)

- 1 ハレとケで整えるふるさと～仙台市若林区井土地区の宅地跡地活用～
東日本大震災で甚大な被害を受けた井土地区の宅地跡地を対象に、旧住民の関与も得て「みんなで集落を手入れする」習慣を基礎としたコミュニティ形成をめざし、ふるさとのハレとケの場面を、農作物や自然環境を活用して盛り上げる活動



鬼越の森再生プロジェクト [継続]

(山形県山形市)

- 2 活動の収益化による里山再生プロジェクトの経済的自立
放置林の間伐や歴史的古道の復元などにより、里山環境の復元と保全に努めてきたが、今年度はこれらの活動を継続するとともに、木工・竹細工の有料ワークショップやジビエ活用などでの収益化を通して経済的自立をめざす



NPO法人 urban design partners balloon

(千葉県柏市)

- 3 「ヌマベの楽校」に向けたヌマガワ&チームづくり
27年間水質全国ワースト1だった手賀沼で、地域住民(特に将来の担い手になる子どもたち)が自然環境にしっかり触れられ、学べる「入口」となる拠点(ヌマベの楽校)として、水辺空間(ヌマガワ)を整備・活用していく活動



どこコレ? in たまプラーザ 運営事務局

(神奈川県横浜市)

- 4 どこコレ? in たまプラーザ 教えて昭和・平成のたまプラーザ
たまプラーザ駅周辺で、昔に撮影されて具体的な場所や時期がわからなくなった写真を参加者の記憶や推理によって解明する展示イベントを行い、特定された場所で昔と同じように写真撮影し街の音を採集してまちの歴史をアーカイブする活動



摂食障害自助グループゆっくり

(福井県全域)

- 5 摂食障がい経験者等で築く地域社会と繋がる居場所づくり
摂食障がい当事者や経験者が主体となり、生きづらさを抱える人や孤独になりがちな人などが安心して過ごせるサードプレイスを運営し、皆で一緒に料理をして食べる楽しみを通して、多様な人同士が関わり支え合う地域社会の創出をめざす活動



NPO法人 しんしろドリーム荘

(愛知県新城市)

- 6 炭焼小屋メンズシェッドで男性高齢者を再生する活動
「孤独・孤立対策推進法」に基づく一人も取り残さない地域づくりとして、世界一孤独とも揶揄される男性高齢者を呼び込む憩いの場として、炭焼小屋をメンズシェッド(男の小屋)に再生して、リユース品の交換場所、おもちゃの病院などとして活用する活動



福祉と建築

(三重県松阪市)

7 湯のつながりを繋ぐ「コミュニティ足湯プロジェクト」

窯の老朽化により廃業となった地域のシンボリックな銭湯が創り上げてきた地域住民の集いの場の存続と周辺の景観を維持するために、地域の木材を活用したコミュニティ（モバイル）足湯の整備と旧銭湯のバリアフリー化を行う活動



NPO法人 松山さかのうえ日本語学校

(愛媛県松山市)

8 食を通じた国際教育「国際子ども食堂」で地域をつなぐ

留学生や技能実習生などの外国人と、高校生・大学生たちが中心となり、地域の子もたちに母国の料理を振る舞う国際子ども食堂の開催頻度を増やし、高齢者の関与も得るなど有事の際の助け合いも見据えた多国籍、多世代の交流活動



あらいぐま人吉

(熊本県人吉市)

9 豪雨被災地住民が参画する写真洗浄で地域力を強化

豪雨災害等で水に浸かり汚れた写真を綺麗に洗浄して被災者の思い出を救済する取り組みを被災地住民と一緒にし、地域力の強化を図りながら将来の災害への備えにもつなげる活動



認定NPO法人 ホームホスピス宮崎

(宮崎県宮崎市)

10 住み慣れた地域で最期まで安心して暮らせるまちをめざし、孤独・孤立にならないよう支援する活動

誰もが住み慣れた地域で暮らしていくために、様々な相談窓口と連携しながら一人ひとりの不安や疑問に対応できるネットワークをつくり、空き民家を活用した暮らしの保健室で交流サロンや市民講座を開催し、地域に開かれた居場所を提供する活動



NPO法人 やどかりサポート鹿児島

(鹿児島県鹿児島市・日置市)

11 当事者同士のつながりで孤独死ゼロをめざす活動

住まいの保証人を確保することが困難な人に保証を提供して居住支援を行うとともに、当事者自身が主人公となりお互いに見守りあい支えあう「やどかりライフ」を、訪問やLINE等の活用でつながりを強化して孤独死ゼロをめざす活動



住まい活動助成

住宅や歴史的建造物などの建物を活動対象にして、多様な住まいまちづくりの活動に対する助成

浪江「あの日」の家改修設計チーム (福島県浪江町)

震災記憶をとどめた家を改修し、まちにひらく

- 1 3.11 直後の有様を伝える浪江町の空き家を保存・再生することで、住民と地域の研究者が語り合えるコミュニティ拠点を創る。原発災害を私たちの生活に近い形で学び体感することを通して、科学技術との関わりやまちの未来を語り合える場づくりをめざす



めじろ台地区まちづくり協議会 (東京都八王子市)

めじろ台住宅地中心部の再構成活動

～連携的エリアリノベーション～

- 2 郊外超高齢住宅地を元気に住み継ぐ4つの活動。①駅前スーパーの移転を契機にした連携的まちづくりの提案、②空き店舗を活用したみんなの居場所「めじろ台テラス」の活動、③散歩と交流を楽しむ「みんなのイス / お散歩マップ」、④近隣の法政大学等の活動イベントと連携した多世代交流の取り組み



子どもも大人もまちの寺子屋 わってらか [継続] (神奈川県小田原市)

まちの資産で地域と親子をつなぐ日常の居場所とあそび場づくり

- 3 小田原のまちの資産を生かして、孤立しがちな子育て世帯、地域の人をつなぐ常設の居場所をつくる。親子・子どものあそび場、地域の人と育むコミュニティカフェやワークショップで、一層豊かな暮らしやつながりをめざす活動



NPO法人 綴る (石川県金沢市)

菊川の空き家を舞台に、新しい「共(とも)」の風景を描く

- 4 菊川エリアに点在する空き家を地域資源として捉え、住民の交流や学びの場、国内外のアーティストの活動の場として開放する。管理不全の空き家を減らしつつ、世代や分野を超えてつながり、地域相互扶助ができるコミュニティの形成をめざす活動



NPO法人 あわら市名泉郷住みよい街を創る会 (福井県あわら市)

地域振興、交流促進の中核的活動拠点を整備し、住みよい街を創造する

- 5 遠郊外戸建住宅地の居住者で構成される本法人は、住みよい地域づくりに取り組んでおり、本事業では、①元集会所を改修した地域振興拠点づくり、②団地外若年世帯等との交流、③不在地主所有の未利用地管理などを行う活動



NPO法人 岡崎まち育てセンター・りた (愛知県岡崎市)

6 空洞化の進む路地街区の空き地・空き家を活用した地域再生
再建築ができず空き家の増加と後継世代の流出が進む地区で、町内会や民間事業者・市民団体等が連携し、空き地・空き家を活用して地域交流を促す菜園や活動拠点を整備し、地域活力の向上と路地街区の再生を図る活動



NPO法人 湯来^{ゆき}観光地域づくり公社 (広島県広島市)

7 旧病院を改修した、高齢者とまちを支える若者受入れのためのシェアハウス
湯来温泉街にある、昔は病院だった建物を若者が移住のお試し施設として活用できるシェアハウスへ改修。そしてそこを拠点に、居住者が高齢者の困り事を解決する仕組みを作り、そのことで若者も地域に溶け込みやすくなる活動



しらいち 白市町家保存会 (広島県東広島市)

8 町家の保存、再生、活用により地域の活性化を図る
江戸、明治、大正、昭和期の町家や赤瓦の建物が残る白市地区の文化的景観を保全し、歴史遺産に対する理解と関心を高め、町家再生、活用により、まちの活性化を図り、地域住民が住みやすい環境、風土、文化を次世代に繋いでいく活動



NPO法人 WeD (佐賀県唐津市)

9 高校生の「〇〇したい」を支援しつつ、高校生の主体性を育む事業
自身の将来について考える機会が少ない高校生たちに「活動の場所」「活動の機会」「地域とのつながり」を提供することで、その主体性を育て、将来のキャリアについて考えるきっかけを持ってもらう活動



斜面地・空き家活用団体つくる (長崎県長崎市)

10 長崎の斜面地に新たな文化拠点をづくり、地域の魅力発信に取り組む
人口減少の進む長崎の斜面地で空き家を活用したまちづくりに取り組み、地域の魅力発信を行う。本事業では空き家を活用した文化拠点づくりに取り組み、新たな交流や滞在スタイルの構築をめざす





「住まいとコミュニティづくり活動助成選考委員会」

- 委員長 黒瀬 武史（九州大学）
委員 梅宮 路子（日本ナショナルトラスト）
委員 瀬田 史彦（東京大学）
委員 竹沢えり子（銀座街づくり会議）
委員 山田 翔太（世田谷トラストまちづくり）
委員 渡邊 義孝（風組・渡邊設計室）
委員 松本 昭（ハウジングアンドコミュニティ財団）

ハウジングアンドコミュニティ財団(以下「本財団」)は、豊かな住環境の創造に貢献することを目的に、平成4(1992)年に財団法人として設立され、平成23(2011)年4月に一般財団法人へと移行しました。

本財団では、世代を超えた良質な住環境をつくり、活力ある地域社会を構築するためには、市民の自発的な地域づくり・住まいづくりが不可欠と考え、このような活動を支援することを社会的使命として参りました。

1993年から開始した「住まいとコミュニティづくり活動助成」のこれまでの助成対象団体数は504団体にのびます。



Housing and Community Foundation

一般財団法人ハウジングアンドコミュニティ財団
〒105-0014 東京都港区芝 2-31-19 バンザイビル 7F
TEL03-6453-9213 FAX03-6453-9214
<http://www.hc-zaidan.or.jp>